

「神様が私たちに望んでいること」(要約)

第一テサロニケ 5:16-18

私達の生活は、今私達を苦しめている新型コロナウイルスだけでなく、身の回りにはいつもあらゆる『苦しみ、悲しみ・・・』などの様々な課題、問題がある。私達クリスチャンはこうしたことをどのように解決しているのか？

第一テサロニケ 5 章 16-18 節はとても有名な御言葉の一つであるが、改めて見直すと、実に重要な神様が望んでおられる事が語られている。

I, 個人の努力目標ではなく「命令」

この御言葉は「・・・なさい」と全て命令形で記されている。すなわちこの御言葉は単なる個人の努力目標以上のことである。聖書は私達に(この御言葉を)命令しているのである。

しかもそれは教会全体に語られている。(1 テサ 5:27)つまり教会全体で取り組まなければならないことである。

II, ①喜び 「いつも喜んでいなさい」

「喜び」とは、誰かに「命令」されてすることではない。それなのに何故御言葉は「命令」しているのか？しかも「いつも」とある。

私達の「喜び」とはどのようなものか？それは環境や個人の状態に左右される「喜び」ではないだろうか。しかしキリストにある「喜び」は状況や状態に関係無く「溢れ出る喜び」である。これは確実に用意されている「御国への希望」が土台でもある。「命令」とは、それをいつも忘れないようにということであろう。

②祈り 「絶えず祈りなさい」

「祈り」とは何か？イエス様は主の祈りを教えて下さった。そこには大きく2つのことが含まれている。

a. 「御名が・・・、御国を・・・、御心が・・・」

祈りは全て主なる神に向かって祈るものである。

b. 「私達の・・・私達に・・・私達を・・・」

私(個人)の糧を与えて下さい。ではない。私(個人)の負い目を赦してください。でもない。

それはすべて私達(複数形)のと祈っているのである。すなわち私達は祈りを通して教会が一致してすべての人々全てのためにも祈っているのである。そこに他者を思いやる主にある愛と主を見上げた信仰者=教会の一致した祈りがある。

③感謝 「すべてのことにおいて感謝しなさい」

パウロが記した手紙にはいつも「感謝」という言葉が溢れている。彼はどんな状況でも「神への感謝」から始めている。(使徒 27:35)

III, 神があなたがたに望んでおられること

これらのことが I テサロニケ 5:16-18 で語られていることである。そしてキリスト・イエスにあって神様が私達に望んでいる事である。考えよう:私達はどうか？